



## やくの高原みらい会議（夜久野高原開発構想策定懇話会）って何の為の話し合い？

1月14日（火）午後1時30分より見出しの会議が朝来市役所西館で開催されました。この会の趣旨は、「夜久野高原開発については、市有地を活用した市の事業のほか、土地改良事業、地域自治協議会の活動が並行して進行しているが、これらの各事業を統括するような計画や構想がないのが現状である。したがって、夜久野高原全体を対象に、関連事業及び関係主体間の調整を図り、開発の方向性を共有することを目的に構想を策定する。」としています。



事務局は、農林振興課で3名出席。構成メンバーは、市より委嘱された15名（夜久野高原土地改良区役員3名・東河地区協議会役員3名・東河地区内2区の区長2名・磯部地区内3区の区長3名・写真家1名・ボランティアグループなど）この会3名）オブザーバーとして土地改良、産業振興部、観光交流課、上下水道課、建設課、域医療健康課等から5名の総計23名規模の会議となりました。

話し合いはワークショップ形式で行い、3テーブルに別れ進行者、発表者、記録者を選び夜久野高原開発に関わって、各自が所属する団体に「したいこと・求められること・できること」について90分の時間内で活発な意見が飛び交いました。

以下、その発言の概要を紹介します。（写真家）昨秋から市と連携して試行的に「お花畑」をオープンした。周辺には駐車場や二車線の幹線道路がつきその工事にかかっている。メタセコイヤ並木を作りたい。高原の魅力写真の更なる発信（地平線から太陽・高原の黄金色の朝・宝山の雲海・夜の星空）高原の花畑を北海道にある七色の花畑に。ドローン撮影もしている。道の駅「まほろば」では写真クラブの作品を1ヶ月交代で入れ替えている。多くの人を呼び込むPR効果には最適である。（観光交流課）吉田さんの写真にモデルや結婚式を取り込んでSNSなどで発信する。旅行プランを国内外のキャンペーンで紹介して、客呼び込みのイベントを開く。88ヶ所石仏・桜・インスタ映え写真等の素材を活かして商品化する。集客のノウハウは竹田城跡の経験を生かす。（ボランティア：なでしこの会）会員は20名くらい。昨年のお花畑オープンに関わらせてもらった。草ひきや種蒔き、開催中の接待のボランティア活動を行ったが、人数が足りないのが悩み。阪神間の観光客が多かった。イベントは地方新聞でしか紹介されていない。（吉田さんがフェイスブックやツイッターで発信）（東河地区協議会）高原に宿泊施設を建てたり、貸し農園も喜ばれるのでは。お金が入るような手立てが欲しい。ロータリーから宮村間の道路整備や農耕車の安全確保。道路整備・案内板の設置が必要。今後4年間の工事期間中は全体像が分かるような看板の設置がある。（金浦区長）金浦は高原の中心にある。古くから信仰・交流の拠点として重要な役割を果たしてきた。歴史文化遺産も多く、エドヒガン桜や88ヶ所石仏巡りなどもよく知られ近隣と連携して維持管理に務めている。高原の魅力と良さを発信し、活性化を望んでいる。（地域医療・健康課）健康ツーリズムを目指したコースが高原に設定できればいい。それには、安全に歩ける歩道の整備、ミニ歴史講座のサービス。高原開発構想（案）には、農地・畑地・市道・観光駐車場・ビレッジ等の整備事業が盛り込まれている。府県境にあり構想の端っこにある金浦の存亡、歴史文化遺産の保存を開発構想にどう位置づけるか大きな課題であり、関係機関には大いなる働きかけが欠かせない。



